

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	基礎製図実習 [Basic Drafting Practice]				
科目コード	710018	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	岡島 直方				
授業概要	<p>図面を描くために製図用道具を使うこと、用紙の余白の中に情報をバランスよく配置すること、図面表現の方法を試すこと(ホルダー、製図ペン、色鉛筆、水彩などの効果)、各種図面(平面図、立面図、断面図、透視図)の作図法基礎を知ることなどをテーマに進めていく。昨今、コンピューターによる作図が増えているが、CADが自動的に処理してくれる作業内容が何なのかを知識として知るため、透視図の原理に触れ、その独特な世界感を味わう。簡単な模型を作り、小さなスケールで造園の立体表現を体験する。</p>				
授業計画	<p>第 1回: ガイダンス、課題の提出の仕方、道具の説明、平行線の練習 第 2回: 線の太さの描き分け、レタリング(筆ペン持参) 第 3回: ジョン・ブルックの練習課題1 第 4回: 描画の技法(各種図形を道具を使って描く) 第 5回: 植物の成長を考える(色紙、はさみ、のり持参) 第 6回: ジョン・ブルックの練習課題2 第 7回: ポスターを作る(植物などの取材をしておく) 第 8回: 図法の説明 第 9回: アイソメトリック図の例題 第10回: パーゴラの正射投影図 第11回: パーゴラのアイソメトリック図 第12回: 透視図の基礎的な考え方(この日までにパースの模型を作る) 第13回: 手本のパースを拡大模写1 第14回: 手本のパースを拡大模写2 第15回: 浮世絵から構図を学ぶ * 内容の変更の可能性はあります。</p>				
授業の到達目標	<p>図面を描く上で必要になる基礎的な概念の把握・演習を行う。この科目により、手描きで図面を書く際の基本的な道具の使い方を習得する。また各種図面が描かれる法則を理解する。同時に、紙面という一つの舞台の中で自己を表現する回数を増やし、美しく仕上げるための工夫を実践する。</p>				
評価方法	出席および提出物の成績を加味して評価する。				
テキスト	適宜プリントを配布します。				
参考書	造園図面の表現と技法 I 野沢清・板橋二三男 誠文堂新光社(1977)				
備考					